

3/16 発表 北信越フットボールリーグ実行委員会

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン 一部抜粋

4. サッカー観戦の観客に対する感染予防策

- ① 発熱、咳、倦怠感、咽頭痛などがみられる場合には観戦をご遠慮いただく
(心臓、肺などに基礎疾患がある場合も同様)
自分を守るだけでなく、多くの仲間、選手を守ることを理解の徹底
- ② 入場時・退場時の濃厚接触を減らすための工夫（ゾーニングなど）待機列が「密」にならないよう工夫する
- ③ 入場時に体温を測定し、37.5度以上の場合、入場をお断りする
- ④ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合入場をお断りする。
- ⑤ 非接触型温度測定器、サーモメーター等を利用したスタジアム入場時の体温チェック（37.5℃以上）
- ⑥ スタジアムではマスクを着用する。熱中症対策でマスクを外す場合は、社会的距離（できるだけ2m、最低1m、咳エチケットに十分配慮する）を確保する。
- ⑦ スタジアム内でのマスク着用の呼びかけ
- ⑧ 観戦時の濃厚接触を減らす工夫として、社会的距離（できるだけ2m、最低1mを確保し、1席空けて座る。
- ⑨ 手指消毒剤の設置
入場・退場時の手指消毒の推奨など
手洗い、手指消毒をこまめに行う

⑩ ファンから渡されたペン、色紙、ボールなどでのサインを行うファンサービス、ハイタッチなどを行わない。

⑪ 応援について

(1) 容認される行為は以下の通りです

(例) 拍手・手拍子

(例) タオルマフラー・ゲートフラッグなどを掲げる

(例) 太鼓、応援ハリセン等、自由席で叩ける鳴り物の使用は、主管クラブが使用可否を判断する。

- ・ただし、メガホンの使用は除く。また、スタジアム備品を叩く行為は厳に慎む
なお適用にあたっては、ホームとビジターは同条件で適用する
- ・使用場所など、適用の詳細は主管クラブの試合運営ルールに従う

(2) 禁止される行為は以下の通りです

声を出す応援

(例) 指笛・チャント・ブーイング

(例) トラメガ・メガホン・トランペットなど道具・楽器を使うこと

人と接触する応援

(例) ハイタッチ・肩組みなど

「密」を作る応援

(例) お客様がいる席でのビッグフラッグ※ただし、お客様がいない席に掲出する場合は容認される

(例) 大旗を含むフラッグを振る

(例) タオルマフラーを振る、もしくは回す